

埼玉県立がんセンター患者サービス事業（カード式テレビ等の設置及び運営事業） 仕様書

この仕様書は、地方独立行政法人埼玉県立病院機構（以下「法人」という。）が埼玉県立がんセンター（以下「がんセンター」という。）における患者サービス事業（カード式テレビ等の設置及び運営事業）の適正を期するため事業に必要な詳細な事業内容について定めるものである。この事業を実施する者（以下「事業者」という。）は契約書及びこの仕様書の定めるところにより履行しなければならない。

1 カード式テレビ等の設置及び運営に当たっての基本的事項

（１）事業の場所等

ア 名称	埼玉県立がんセンター
イ 所在地	埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 7 8 0 番地
ウ 病床数	5 0 3 床
エ 貸付面積	2 6 8 . 9 3 m ²
オ 平均病床利用率	6 6 . 4 %（令和 4 年度実績）
カ 平均在院日数	1 3 . 1 日（令和 4 年度実績）
キ カード平均売上	月額 約 2, 2 0 9, 0 0 0 円（令和 4 年度実績）

なお、令和 4 年度のカードの価格及び各機器（冷蔵庫を除く）の利用料金は本仕様と同じである。令和 4 年度の冷蔵庫の利用料金は無料である。

（２）事業内容

事業者は、病室等に設置するカード式テレビ、カード式冷蔵庫、カード式洗濯乾燥機、カード式電話機、床頭台、金庫、ロッカー等の物品やカードの維持管理並びにカード売上代金の徴収事務等、患者等のためのカード式テレビ等の運営の全般を実施する。

（３）事業を行う者の費用負担

- ア 当該テレビ等に係る機器等の設置、保守及び原状回復に係る経費
- イ NHK受信契約に係る経費
- ウ 当該テレビ等の破損・故障に係る一切の経費
- エ 当該テレビ等の消耗品の補充費用
- オ 当該テレビ等の清掃・故障対応のための人員確保に係る経費
- カ 事業者名義で設置する電話回線に係る使用料
- キ その他設置及び運営に係る経費（設置物件が使用する電気および水道料金を除く）

（４）保守管理等

- ア 当該テレビ等の故障等発生時は、平日・休日を問わず迅速に対応すること。
- イ 故障時の緊急対応として、2 4 時間以内に当該テレビ等が使用できるよう対応すること。
- ウ 年末年始を除き、週 3 日の頻度で洗濯乾燥機（内部フィルターを含む）の清掃巡回を行うこと。

エ 洗濯乾燥機の清掃巡回など必要と思われるものの状況を常に記録し、報告を求められた場合に回答できるようにしておくこと。

オ 冷蔵庫のトレイ清掃を毎年 5 月から 9 月までの間、週 3 日の頻度で訪問し行うこと。

カ 物品の使用方法について、毎年度当初に職員に対する説明を行うこと。また、わかりやすい説明書の配布を行うこと。

キ すべての業務及び物品等の構造において患者等の安全に十分注意すること。

ク 搬入及び搬出時は、施設に損傷の無いよう注意し、必要な場合は掲示も行うこと。

ケ カード販売機及びカード精算機は、固定するなど防犯対策をすること。

コ カード精算機の精算金切れやカード販売機のカード切れが起こらないよう十分な回数の補充作業を行うこと。

サ カード精算機は、がんセンターで販売するカード以外は、精算できないようにすること。

シ 軽微な故障及び緊急時の対応のため、カード販売機、精算機、金庫等の鍵の予備を預けること。

ス 洗濯乾燥機及びカード販売機にはカウンターを設置すること。

セ カードはがんセンターの専用カードを使用すること。

ソ 販売したカードに支障がある場合、又は物品のテストを行う場合の予備カードを預けること。

タ カード式電話に必要な回線を、事業者名義でがんセンターの電話交換機に接続すること。

チ 必要に応じて電話交換機にはガイダンスが流れるように設置すること。

ツ 各カード販売機について、月末を含む月 1 回以上、売上金の回収を行うこと。カード販売機の収納能力等により必要な場合は、随時回収を行うこと。売上金の回収後は直ちに報告書を提出するものとする。

テ 保守管理作業を行うための備品等については、常に整頓を行うこと。

ト 8 階西病棟の全体または一部は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止対策におけるレッドエリアとなることがある。レッドエリアへ入るときは、法人の指示に従って防護具を着用すること。なお、防護具は法人が提供する。

（5）契約満了時の引き継ぎ

契約期間が満了したら、次の事業者への引き継ぎに全面的に協力すること。なお、がんセンターの業務に支障がないよう、契約期間終了から次の事業者が床頭台等の設置を完了するまでの期間、設置物件の一部を残置することを法人と協議することがある。

（6）賠償義務

賃貸借に際して、法人に損害を与えた場合は、事業者は速やかに賠償すること。

（7）カードの価格等

ア カードの価格

1 枚 1, 0 0 0 円とする。

イ カードで利用できる機器

テレビ、冷蔵庫、洗濯乾燥機、電話

ウ 各機器の利用料金

テレビ：1,000円で1,000分視聴できるようにすること。

冷蔵庫：1日当たり200円とすること。

洗濯乾燥機：洗濯から乾燥まで運転するコースにおいて、標準量（3.0kgまで）は一工程で300円、少量（1.0kgまで）は一工程で200円とすること。また、洗濯のみは一工程で100円、乾燥のみは30分につき100円とすること。

電話：公衆電話と同じ金額になるように設定すること。

2 設置物件の規格等

(1) テレビ（543台）

ア 設置する543台は全て有料とする。

イ 地上波放送及びBS放送（NHK及び無料放送に限る）が視聴可能な液晶テレビとする。

ウ サイズは19インチ程度のもの。

エ テレビは落下や盗難などが無いように床頭台に取付固定すること。

オ テレビがあるスペースを有効活用できるよう、テレビを使用しない時はテレビを床頭台の上部等に収納できるようにすること。

カ テレビの上下左右の角度が容易に調節可能であること。

キ 市販のイヤホンの接続が可能であり、イヤホンによる音声聞き取りと通常の音声聞き取りが切り替え可能であること。

ク 高齢者にも簡単なワイヤレスリモコンを附属していること。

ケ 他のリモコンで誤作動しないようにすること。

コ テレビ、リモコン及びリモコン用の電池は予備品をがんセンター内に用意すること。

(2) 床頭台（床頭台下部に冷蔵庫を入れ上部に電話を取り付けるタイプ17台、床頭台下部に冷蔵庫を入れるタイプ462台、床頭台に冷蔵庫の代わりに引き出しを付け足すタイプ64台）

ア 縦140センチ、横50センチ、奥行き50センチ程度の大きさで、ストッパー付キャスターで移動ができ、配線に収納の工夫があり、利用者の安全に配慮したもの。なお、キャスターのストッパーは足踏み式であり、キャスター4点を一括でロックできる機能があること。

イ 収納は引き出しで、スライドテーブルを装備、最上部分には収納棚等は設けないこと。

ウ 引き出しには金庫を設置するか、スライド式ロックキーにより引き出しごと施錠可能にして金庫として利用できるようにすること。

ただし、HCU、通院治療センターに設置する床頭台（64台）に金庫は不要とする。

エ 金庫にカードキーを挿したままでも引き出しをスムーズに開閉できること。

オ 床頭台の下部に小型冷蔵庫を収納できるものとする。

ただし、HCU、通院治療センターに設置する床頭台（64台）は、冷蔵庫の代わりに冷蔵庫の収納部分にも引き出しを設置する。

カ（１）のテレビを上部等に収納できるよう設置すること。なお、テレビを使用しないときは、そのスペースを有効活用できるようにすること。

キ 床頭台左右側面部にタオル掛けがあること。

ク 茶系の落ち着いた明るい温かみのある色や素材を使用すること。

ケ 無料で使用できること。

（３）金庫（479台）

ア カードキーを使用したものであること。

イ 紛失防止のため、カードキーに手首リングをつけること。

ウ マスターキー及び予備用のカードキーと手首リングを用意すること。

エ こじ開け等の盗難防止機能に配慮されていること。

オ 金庫破壊による盗難時の盗難補償制度付きであること。

カ 無料で使用できること。

キ 金庫の鍵は、患者が使いやすいものとし、紛失等の代替品に係る費用は、事業者が負担する。また、紛失等にも迅速に対応できるものを提案すること。

（４）冷蔵庫（479台）

ア 引き出し式で500mlのペットボトルが立てて入れられるもの。

イ 容量は22リットル以上のもので床頭台下部に収納できるもの。

ウ 年間消費電力量が少ないものであること。

エ 放熱が少ないもので低騒音のものであること。

オ 扉、庫内含め全てSIAA準拠の抗菌仕様であること。

（５）洗濯乾燥機（24台）

ア 現在の病棟スペースに収納可能な洗濯機と乾燥機の一体型ドラム式で各設置場所に設置すること。

防水パンの大きさは、横：外寸約80cm（内寸約74cm）

奥行き：外寸約63cm（内寸約59cm）

イ 年間消費電力量が少ないものであること。

ウ 低騒音であること。

エ 安全に使用できる高さとする。

オ 一体型ドラム式洗濯乾燥機の容量は洗濯6.0kg以上、乾燥3.0kg以上とする。

カ 設置台数は、各階病棟ごとに2台ずつとする。

（６）電話機（25台）

床頭台上部に取り付ける電話機（電話機17台）、9階デイルーム（電話機2台）及び9階以外のデイルーム（電話機6台）にテレビと同一のカードで利用できる電話機を設置すること。

（７）ロッカー（477台）

ア 縦160センチ、横50センチ、奥行き50センチ程度の大きさとストッパー付キャスターつけて移動できるもの。

イ 観音開きタイプで開閉が静かであり、床頭台と同様の色や素材を使用したもの。

ウ ロッカー内に仕切りを設け、ハンガーを掛けられる部分と棚式の部分に分けること。ハンガーを掛けられる部分と棚式の部分の割合は1：2とする。なお、棚は可動式の棚板とすること。ハンガーを掛けられる部分にも可動式の棚板を設けるとともに、患者の日用品を入れられるように配慮する。

エ 地震の時にロッカーの扉が開かないような機能（耐震ロック）を設けること。

オ 無料で使用できること。

(8) カード販売機（11台）

ア 法人の指定した場所に1台ずつ設置すること。

イ 販売枚数に応じたストック枚数が確保できるものであること。

ウ 車椅子での利用が可能なように低床型とし、転倒防止に配慮すると共に防犯対策上必要な対策を講じること。また、使用済みカードの誤挿入防止の措置を講じること。

エ 販売枚数管理用にリセット不可のカウンターを装備すること。

オ カードには「埼玉県立がんセンター」「1000分」と明記すること。

(9) カード精算機（2台）

ア 1階防災センター横及び1階待合ホールに設置すること。

イ 10円単位まで精算可能なもの。

ウ 未使用なカードでも払い戻しができること。

エ 車椅子での利用が可能なように低床型とし、転倒防止に配慮すると共に防犯対策上必要な対策を講じること。

オ カード精算機による払い戻しだけでなく、がんセンターの患者からの郵送による払い戻し依頼も受け付けること。

(10) 電話回線

ア 5回線をがんセンターの電話交換機まで導入すること。

イ 電話交換機には必要に応じて外線に対するメッセージ機能を導入すること。

(11) カードタイマー

ア テレビ、冷蔵庫は共通のカードタイマーを設置すること。

イ 電話、洗濯乾燥機にはそれぞれのカードタイマーを設置すること。

ウ 残度数又は残時間が表示できること。